

課題名 当院における血液透析患者の栄養状態の現状と今後の課題

【研究責任者】

栄養管理室 栄養管理室長 森下麻衣

【研究の目的】

高齢透析患者では合併症や低栄養の問題を抱えることが多いといわれている。

当院では 2024 年 11 月より透析センターと連携し、入院中の血液透析患者を対象に、NRI-JH をはじめとする栄養関連指標を活用した管理栄養士の積極的な介入を開始した。

今回、取り組みを継続するにあたり、当院の血液透析患者の特徴を把握し、今後の課題を検討するため患者背景および栄養指標の実態調査を行い、今後の適切な栄養管理へつなげることを目的とする。

【研究の期間】

実施許可願承認後～2025 年 8 月 31 日

【研究の方法】

対象者：2025 年 4 月に当院で血液透析治療を受けた入院患者 40 名

方法：電子カルテより後方視的に、年齢、BMI、透析期間、ADL^{*1}、MNA-SF^{*2}、ALB、GNRI^{*3}、nPCR^{*4}、CONUT^{*5}、NRI-JH^{*6}を調査。

加えて、NRI-JH と透析期間、NRI-JH と MNA-SF の相関について CORREL 関数を用いて分析を行う。

*1 ADL (Activities of Daily Living 日常生活動作)

：日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと。高齢者や障害者の方の身体能力や日常生活レベルを図るための重要な指標。

*2 MNA-SF (Mini Nutritional Assessment Short-Form 簡易栄養状態評価票)

：欧州の専門家により開発された高齢者に特化した栄養スクリーニングツール。食事摂取量の変化・体重変化・移動能力・ストレス・精神心理学的問題・BMI の 6 項目から構成され、各 0～2 点または 3 点の範囲で採点し合計点数により低栄養・低栄養のおそれあり・栄養状態良好のいずれに該当するかを判定する。

*3 GNRI (Geriatric Nutritional Risk Index)

：高齢者の栄養状態を評価するための指標。血清アルブミン値、現体重、理想体重のみで算出できる。急性期患者、血液透析患者、心不全患者などにおいて予後予測能が評価されている。

- *4 nPCR (normalized protein catabolism rate 標準化蛋白異化率)
：体重 1 kg あたり一日に産生される尿素窒素の量で、食事における蛋白の摂取量を反映する。透析患者のタンパク質摂取量を反映する指標。
- *5 CONUT (Controlling Nutritional Status)
：2003 年の ESPEN (欧州静脈経腸栄養学会) で発表された栄養評価法。日常よく測定される項目であるアルブミン、総コレステロール、リンパ球数の値をスコア化し、3 つのスコアを積算して求めた CONUT スコアを栄養指標として用いるもの。CONUT スコアは、タンパク代謝、脂質代謝、免疫能を反映した指標で、栄養不良レベルは、正常、軽度、中等度、高度の 4 段階に評価される。
- *6 NRI-JH (nutritional risk index for Japanese hemodialysis patients)
：日本透析医学会学術委員会栄養問題検討ワーキンググループが作成した 1 年後の生命予後に関する栄養学的リスクを評価するツール。血清アルブミン、血清総コレステロール、血清クレアチニン、BMI を用いスコアにより低中高の三段階のリスク群に分類する。

【倫理審査 委員会承認日】

2025 年 6 月 24 日

【倫理審査 院長承認日】

2025 年 6 月 25 日

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

なし

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構柳井医療センター
〒742-1352 山口県柳井市伊保庄 95
TEL (0820) 27-0211 (代)
研究責任者 栄養管理室長 森下麻衣